

生活科学習指導本時案

授業者 上田 恵

日時：平成30年10月27日（土）第2校時(10:25～11:10)

対象：第1学年B組 29人

場所：1年B組教室 プレイランド

本時の主張点	3回目の「泥団子バトル（すべり台で転がす）」をすることで、前回の気づきをいかした泥団子ができたかどうかを検証し、次回はもっと強くしようと意欲を次に続け、強い泥団子の秘密を探ろうとして、探究力の基礎が育つだろう。
--------	---

1. 本時について

本時までには、土は場所によって色や重さ、含まれているもの、粒の大きさ、湿り気などの違いがあることに気付く活動をしている。本時の泥団子バトルでは、自分の作った泥団子を、すべり台で転がす。プレイランドの滑り台には途中にジャンプ台があり、大きな衝撃がかかる。ほとんどの子どもの泥団子は木っ端みじんになる事が予想される。

本時は第3回泥団子バトルである。今までのバトルでは、大きめの塊が残った泥団子の秘密を共有している。このように泥団子バトルをくり返すたび、共有する「大きめの破片が残る泥団子」の秘密が増えていく。本時では、前時までには共有した秘密に加え、新たな気づきが秘密に加わるだろう。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

前回までのバトルで共有した強い泥団子の秘密を生かして泥団子を作成した子どもにとっては、その検証の場になる。共有した秘密が確かなものだとは証明されれば、秘密を生かさなかった子どもも、次回、その秘密を生かさそうとするだろう。また、共有していない自分だけの秘密の検証をする子どももいるだろう。また、前回までの気づきに加えて新たな気づきが、強い泥だんごの秘密として共有されることも期待される。このようくり返しバトルを検証の場とすることで探究力の基礎が培われる。

壊れにくい泥団子を作った子どもに、どういうことを聞けばいいのか考えたり、自分が気付いたことを共有するのかあえて共有しないのかを考えたりすることも、バトルに勝つための省察性の基礎である。

3. 探究的な学びを支える授業のしかけ

プレイランドの滑り台を使う。途中にジャンプ台があるため、泥団子を転がすにはハードルが高い。精一杯作った自信たっぷりの泥団子のほとんどがここで、木っ端みじんになる事が予想される。しかし、偶然、木っ端みじんにならず、大きめの破片が残る泥団子を作った子どもがいると、他の子どもは、「どうして作ったの」と聞きたくなるだろう。また、同様のバトルを繰り返すことで、前回の気づきを次に生かさそうとしたり、自分なりの工夫や仮説を試行錯誤したりできる。また、バトルという形をとる事で、次こそは壊れない泥団子を作りたいと意欲をつなぐことができる。また、気づきを共有するのか、自分だけの秘密にして検証するのかを考え、省察性の基礎を働かせることにつながることを期待する。

4. 育みたい資質・能力

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> 自分の気づきを検証しようとする。(学びに向かう力の基礎) 壊れにくい泥団子の秘密は何か、さぐろうとする。(思考力・判断力の基礎) 	<ul style="list-style-type: none"> 結果を受け止める。(学びに向かう力を支える省察性) 壊れにくい泥団子の秘密を探るために、どんなことを聞いたらいいいのか考え、判断する。(思考力・判断力を支える省察性)

5. 本時の目標

- 強い泥だんごの秘密が何か、探ろうとする (思考力・判断力・表現力の基礎)
- 次のバトルに向けて、どんな工夫をするのか、期待感をもつ (学びに向かう力)

5. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
1. めあてを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> 全体のめあてと個人のめあてを確かめる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 泥団子バトルで、強い泥だんごの秘密をさぐろう </div>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 割れないように大事に運ぼう。 ○ 今日は、割れないように頑張るぞ。 2. 泥団子バトルをする。 プレイランドの滑り台に移動する。 1人一個ずつ滑り台を転がす。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 粉々になってしまった。 ○ かけらを拾って、見てみたいな。 ○ ◆◆さんの泥だんごは割れたけど、かけらの大きさが大きいな。なぜかな。 ○ 粉々じゃない泥だんごにはどんな工夫があるのかな。 3. バトルを終えて、聞きたい友だちに工夫をたずねる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ どここの土を使ったの。 ○ どうやって作ったの。 4. 教室に移動し、ふり返りと次の自分のめあてを、ワークシートに書く。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 次は、使う土を変えよう。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作った泥だんごの中から1つ選ぶ。 ・前日や直前に割れてしまった場合は、応援しながら、強さの秘密を探る。 ・子どもは滑り台から離れて、バトルの様子を見守る。(土ぼこりが目に入らないように) 主自分の泥だんごに愛着をもち、友だちのバトルの様子に関心をよせているか。 ・個別に聞くのではなく、全体で聞きたい事を交流する。 ・次へ意欲をつなげられるようにしたい。 思今回の工夫や気づき等が書かれているか。